

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)					
審査委員会 受付番号	2018-3004	利用するもの	試料: なし 情報: DNAメチル化測定データ、調査票への回答		
主たる研究機関	東海大学		分担 研究機関	岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバ ンク機構	
研究題目	ゲノムワイドなメチル化情報を用いた年齢推定法の開発		研究期間	共同研究契約締結日 ～平成32年3月	
実施責任者	今西 規	所属	東海大学医学部		職位 教授
研究目的と意義	ヒトゲノムのメチル化状態は疾患との関わりが明らかにされつつありますが、健常人でも加齢に伴いメチル化状態が変化することが知られています。本研究では、健常人ゲノムのメチル化状態に関する大規模な測定データを用いて、年齢とともにメチル化が増加するゲノム上の位置を特定し、さらにメチル化状態の測定データから個人の年齢を推定するためのソフトウェアを開発します。本ソフトウェアは主に法医学分野での応用を目指します。なお、年齢と強く相関するメチル化サイトを特定したら、そのデータを検証するため、メチル化サイトを含む前後500塩基程度の配列を個人ごとに取り出し、最新のヒト標準ゲノム配列と比較する作業を行います。				
研究計画概要	いわて東北メディカル・メガバンク機構が公開しているiMETHYL Databaseの元データである109名の個人ごとのDNAメチル化測定データを計算機上で統計解析にかけ、被験者の採血時の年齢と正の相関を示すメチル化サイトを特定します。次に、重回帰分析等の統計手法を用いて、メチル化状態の測定データから個人の年齢を推定するためのソフトウェアを作成します。さらに、喫煙・飲酒などの生活習慣がメチル化状態から推定された年齢とどのように関連するかについても、解析を行います。				
期待される成果	本研究はヒトゲノムのメチル化状態に関する基礎科学研究として意義があります。また、法医学的な観点からは、本研究のめざす年齢推定ソフトウェアが法医学試料の鑑定の際に有益な情報をもたらすと期待されます。特に、大規模災害の発生時に被災者の身元を特定する際に役立つと考えられます。				
これまでの倫理 審査等の経過お よび主な議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海大学医学部 医の倫理委員会審査(平成30年3月)</li> <li>・岩手医科大学医学部 倫理審査委員会迅速審査(平成31年2月)</li> </ul>				
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	東海大学及び岩手医科大学のセキュリティポリシーを順守します。機微性の高い個人識別符号(個人のゲノム配列など)は東北メディカル・メガバンクのサーバーまたはセキュリティ管理可能な外部記憶装置内で他の情報端末と物理的に遮断された状態で保管されます。				
その他特記事項	研究の資金源: 東海大学運営費交付金				
(事務局使用欄)					
* 公開日 平成31年2月26日					
* 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。 岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 019-651-5110(5508/5509)					